

## 【予告】

### 令和8（2026）年度大学院美術研究科博士前期課程入試より、美術研究科

### メディア映像領域において入学試験を実施いたします。

令和8年度より大学院美術研究科博士前期課程にメディア映像領域を新設することに伴い、入学試験を実施いたします。試験の詳細は、以下の通りです。

#### 1 アドミッションポリシー

美術研究科 博士前期課程では、専門領域に関する高度な技能と知識を有し、創造性豊かな表現力をもって社会に貢献しうる人を求めています。

##### 求める人物像

- ・志望領域について基本的な知見と論理を構築する能力を有する人
- ・志望領域について創造性のある表現力や構想力を有する人
- ・高い向学心を有し研究心が旺盛である人
- ・柔軟な思考力と物事に対する洞察力を有する人

##### 入学者選抜試験の基本方針

- ・志望領域の実技表現や基礎知識を修得していることを期待しています。
- ・各領域の特性に応じて、その専門性に沿った入学審査を行います。

#### 2 募集人員

研究科	博士前期課程		
	専攻	領域	募集人員
美術研究科	美術専攻	日本画、油画・版画、彫刻、芸術学、デザイン、陶磁、メディア映像（新設）	40名

#### 3 出願資格

美術研究科博士前期課程 他領域と同様。

なお、外国人留学生の日本語能力は、日本語能力試験(JLPT) N1に合格している者とする。

#### 4 試験科目及び内容

作品審査	<p>これまでの活動がわかる作品資料に対して、審査を行う。</p> <p>提出物について（事前提出）</p> <p>●<u>作品資料</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの活動や制作物をまとめたものであること。</li> <li>・媒体は PDF データで指定のフォームに提出すること。</li> <li>・用紙サイズやページ数は自由。</li> <li>・映像作品の場合は、サムネイルなどイメージが分かるような画像を提示し、閲覧可能な QR コードを添付すること。</li> <li>・インスタレーション作品は、展示風景の静止画像を提示し、展示風景を撮影した動画が閲覧可能な QR コードを添付すること。</li> <li>・提出資料は、すべて本人の活動及び制作物であること。制作チームで制作した作品の場合は、担当箇所がわかるようにすること。</li> </ul>
研究計画のプレゼンテーション及び口頭試問	<p>今後の研究計画に関するプレゼンテーションに対して、口頭試問を行う。</p> <p>提出物について（試験当日持参）</p> <p>●<u>研究計画資料</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションに使用するため、試験当日に提出すること。</li> <li>・入学後に行う研究計画をまとめたものであること。</li> </ul>

#### 5 点数配分及び評価基準

試験科目 点 数	評価基準
作品審査 500点 研究計画のプレゼンテーション 及び口頭試問 500点	<p>これまでの活動実績と今後の研究テーマに対する意欲と実行性を評価する。</p>

その他、入試日程等の詳細は、2025年7月下旬公表の『令和8年度 大学院美術研究科博士前期課程 学生募集要項』にて公表致します。